

第4期末 (2025年4月25日)

基準価額	11,376円
純資産総額	58億円
騰落率	△5.7%
分配金	0円

ニッセイ気候変動関連 グローバル株式ファンド (資産成長型)

【愛称】 フォー・ザ・フューチャー

追加型投信／内外／株式

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2024年4月26日～2025年4月25日

第4期 (決算日 2025年4月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型)」は、このたび第4期の決算を行いました。

当ファンドは、「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C (円建て) クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、気候変動に関する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイアセットマネジメント株式会社における「ESGファンド」について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（以下「弊社」といいます）は、ファンドの設定目的や運用方針等をもとに、弊社が設定・運用する公募投資信託において「ESGファンド」と位置付けるファンドを分類しています。

当ファンドは、「ESGファンド」に該当いたします。

以下に弊社における「ESGファンド」の考え方をご説明いたします。

■ ESG運用とは

まず、ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとった言葉で、ESG運用とはこれらの要素を投資判断に加味する運用のことをいいます。ESG運用については、持続可能な社会および国際金融システムの実現をめざすために、2006年に国連が中心となり提唱した責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）をきっかけとして広まっている考え方です。

■ 弊社の「ESGファンド」の考え方について

弊社ではESG要素を積極的に活用し、ポートフォリオを構築するファンドを「ESGファンド」としています。「アクティブランド」において、ESG要素を積極的に活用する運用とは、相対的にESG評価の高い銘柄を選別したり、ESGの観点でインパクト創出可能な銘柄を選別したりする運用のことをいいます^{※1}。運用ファンド全体の中でESGファンド以外の区分としては、ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド、ネガティブスクリーニング^{※2}などでESG要素を考慮しているファンド、およびESG要素を考慮していないファンドがあります。

なお、ESGファンドの中で、特にSDGs^{※3}のゴール達成という観点においても優れた投資銘柄でポートフォリオを構築するファンドを「SDGsファンド」、また環境や社会へのインパクト創出も企図し、その効果をレポートしているファンドを「インパクトファンド」としています。

※1 「インデックスファンド」においては、ESG要素を積極的に活用して構成されると弊社が考える指標に連動するファンドをESGファンドとしています。

※2 ESGの観点から特定の銘柄等を投資対象から除外することをいいます。

※3 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）のことです。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。

< ESGファンドの考え方（イメージ）>

運用ファンド全体

ネガティブスクリーニングなどでESG要素を考慮しているファンド

ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド

ESGファンド

ESG要素を積極的に活用し、
ポートフォリオを構築するファンド
(SDGs・インパクトファンドを含む)

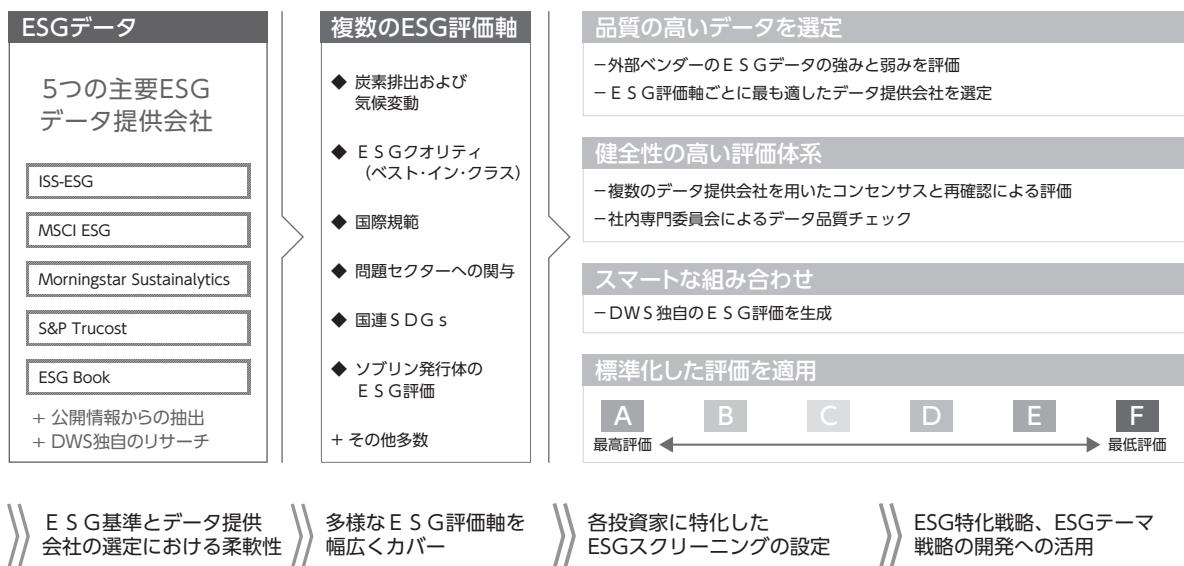
ESG要素を考慮していないファンド

■当ファンドの運用における E S Gに対する考え方について

当ファンドの主要投資対象ファンドを運用するDWSグループのE S G評価およびスクリーニングに対する考え方は以下の通りであり、弊社のE S Gファンドの考え方と合致すると考えています。

同グループでは、下図のように5つの主要E S Gデータ提供会社のE S Gに関するスコアや基礎データを同グループのソフトウェアシステム（DWS E S Gエンジン）に取り込み、各シグナルの重み付けや結合を行なながら、複数のE S G評価軸に適用する独自の評価を導き出します。各主要E S Gデータ提供会社のデータを使用して組み合わせることで、信頼性、客観性を高めつつ、独自性のあるE S G評価を行うことができると考えています。

〈DWS E S Gエンジン〉



当ファンドの主要投資対象ファンドの運用（以下「当運用」といいます）に関する上記エンジンを活用したE S G評価としては、次頁の表の通り主に5つの分析対象、①「DWS気候変動／移行リスク評価」、②「DWS E S Gクオリティ評価」、③「国際規範への対応」、④「問題のある兵器」、⑤「問題のあるセクター」を用いており、①～③の評価については、評価可能な発行体（評価対象かつ評価用データあり）に対して、それぞれ評価が高い順にAからFまでの等級を付与しています。

当運用においては、原則として、次頁の表の背景色が濃いグレーに該当する発行体は投資対象から除外します。当運用では、気候変動に関連する事業を中心に展開する銘柄を投資対象とし、このような包括的なE S Gスクリーニングを加えることで、E S Gの観点で相対的に優良な発行体への投資を行っています。

<当ファンドの主要投資対象ファンドの運用に関するDWSのESG関連評価>

分析対象	① DWS気候変動／ 移行リスク評価	② DWS ESGクオリティ評価	③ 国際規範への対応	④ 問題のある兵器	⑤ 問題のあるセクター	
評価項目	気候変動および 環境変化に関する 問題点を評価	複数のデータ提供会社の コンセンサスによる ESG総合評価 (ベスト・イン・クラス)	国連グローバル・ コンパクト等の 国際規範への 対応を評価	問題のある兵器の 製造への関連度合い に応じて評価	問題のあるセクターからの 売上比率に基づき評価	
組入可	A 真のリーダー (≥ 87.5点)	A 真の ESGリーダー (≥87.5点)	A	問題ない ことを確認	<ul style="list-style-type: none"> ●各セクターの売上比率が基準値内 ・10%未満 石炭発電、原油採掘(伝統的手法)、オイルサンド・オイルシェールの採掘・探索、石炭採掘と原油採掘の合計、天然ガス・石炭を除く化石燃料発電 ・5%未満 防衛装備、民間用武器、パーム油、タバコ、アダルト、ギャンブル、原子力発電／ウラン採掘・燃料化 ・1%未満 石炭採掘 ・0%(なし) 石炭拡張計画、原油・天然ガス採掘(非伝統的手法) 	
	B ソリューション提供 (75～87.5点)	B ESGリーダー (75～87.5点)	B	軽度の問題		
	C 低リスク (50～75点)	C 中上位 (50～75点)	C			
	D 中リスク (25～50点)	D 中下位 (25～50点)	D			
	E 高リスク (12.5～25点)	E 下位 (12.5～25点)	E	一定の問題		
除外	F 極めて高いリスク (0～12.5点)	F 最下位 (0～12.5点)	F ^{*3}	重大な問題／ グローバル・ コンパクトの 非遵守	上記兵器の製造会社、 部品製造会社に該当 ^{*2}	各セクターの売上比率が 基準値を超過

・上記の表はDWS ESGエンジンによるさまざまな評価のうち、当ファンドの主要投資対象ファンドの運用に関するESG関連評価の一覧です。

※1 問題のある兵器のみに使用される重要な部品。

※2 発行体の株主資本構成を考慮する場合があります。

※3 データ不足による未評価を含む。

■ E S Gを主要な要素として投資する目標比率について

当ファンドの主要投資対象である「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C（円建て）クラス」において、E S Gを主要な要素として投資する銘柄の投資額（時価ベース）の目標比率は、同クラスの純資産総額に対し60%超とします。

■ DWSグループにおけるスチュワードシップ方針について

DWSグループでは、アクティブ・オーナーシップ^{**}を投資先企業のガバナンス、行動方針、活動の改善、そして長期的な財務パフォーマンスの向上を後押しする重要な手段と考えています。具体的には、株主としての権利や立場を利用して投資先企業の活動や行動に影響を与えることを目的として、投資先企業等との対話（エンゲージメント）、議決権行使、株主総会への出席などを通じて、投資先企業との直接的な関わり合いの機会を積極的に設けます。

※投資先企業の活動や行動に影響を与えるため、株主としての権利や立場を利用することをいいます。

■スチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要

DWSグループのスチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要については、ホームページに記載しています。

- DWS Stewardship Report（リンク先の“Corporate Governance Services”セクションより各年度のレポートをご覧いただけます。）

<https://www.dws.com/en-jp/solutions/sustainability/corporate-governance/>

- 当ファンドの議決権行使（リンク先の“Filters”の“Fund”から、「DWS Invest ESG Climate Tech」をご選択ください。）

<https://funds.dws.com/en-lu/about-us/corporate-governance/>

以上

E S Gファンドの考え方等につきましては、今後のE S Gを取り巻く情勢等に応じ見直す場合があります。

運用経過

2024年4月26日～2025年4月25日

基準価額等の推移



第4期首	12,065円	既払分配金	0円
第4期末	11,376円	騰落率（分配金再投資ベース）	△5.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなしして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指値化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- ・期初から2024年7月上旬にかけて、米国においてインフレの落ち着きが好感され米連邦準備制度理事会（F R B）による年内利下げ観測が継続したことなどから株価が上昇したこと
- ・2024年8月中旬から10月末にかけて、米半導体企業が半導体需要に対し強気な見通しを示したことや欧米中央銀行による利下げを受けて株価が上昇したこと
- ・2025年4月中旬から当期末にかけて、トランプ米大統領が一部の相互関税を一時停止し、世界経済の後退懸念がやわらいだことなどから株価が上昇したこと

＜下落要因＞

- ・2024年8月上旬に米サプライマネジメント協会（I S M）製造業景況感指数や雇用統計の悪化を受けて株価が下落したこと
- ・2025年2月下旬から3月上旬にかけて、トランプ米大統領の関税政策を巡る不透明感や米景気減速懸念などにより株価が下落したこと
- ・4月上旬のトランプ米政権による貿易相手国への想定以上に厳しい相互関税発表をきっかけに、世界経済の後退懸念が強まることなどから株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第4期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	148円	1.182%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,541円です。
(投信会社)	(48)	(0.385)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(97)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	149	1.187	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

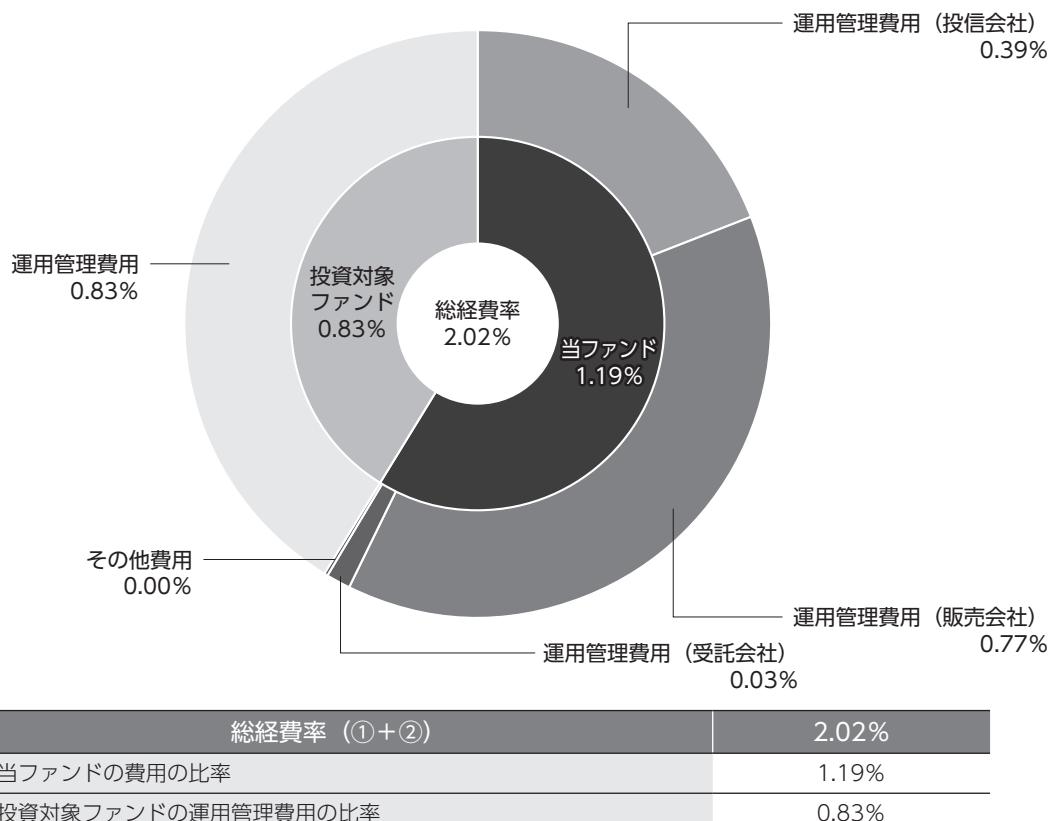
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。



(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 投資対象ファンドの運用管理費用には運用管理費用以外の費用も含まれます。

株式市況



(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場（MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円ベース））は期を通じて見ると上昇しました。

期初から2024年7月上旬にかけては米国においてインフレの落ち着きが好感され、F R Bによる年内利下げ観測が継続したことなどから株価は上昇しましたが、中旬から8月上旬にかけては米 I S M 製造業景況指数や雇用統計の悪化などを受けて下落する展開となりました。その後、10月末にかけては米半導体企業が半導体需要に対し強気な見通しを示したことや欧米中央銀行による利下げを受けて上昇しました。2025年2月下旬から3月上旬にかけてはトランプ米大統領の関税政策を巡る不透明感や米景気減速懸念などを背景に株価は下落しました。4月上旬になると、トランプ米政権による貿易相手国への想定以上に厳しい相互関税発表をきっかけに世界経済の後退懸念が強まることなどから、株価はさらに下落しましたが、その後、当期末にかけてはトランプ米大統領が一部の相互関税を一時停止し、世界経済の後退懸念がやわらいだことから上昇して当期末を迎えるました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C（円建て）クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、気候変動に関連する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C（円建て）クラス

*DWSインベストメントGmb Hの資料（現地における当期末の前月末営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

組入銘柄については、気候変動に関連する事業を展開する企業のなかでも、特に優れた技術・ビジネスモデルを有し、持続的な成長が期待される企業を選別して投資を行いました。

3月末における業種配分は、組入比率の高い順に資本財・サービス（36.2%）、情報技術（21.1%）、素材（8.0%）としており、国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（48.3%）、フランス（11.3%）、ドイツ（7.5%）としています。

また、サブテーマ別構成比率については、緩和（温室効果ガスの排出抑制等）74.4%、適応（社会・経済システムの調整等）25.6%としています。

（注1）業種配分、国・地域別配分比率は対純資産総額比、サブテーマ別構成比率は対組入株式等評価額比です。

（注2）業種はG I C S分類（セクター）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

（注3）国・地域およびサブテーマはDWSインベストメントGmb Hの分類によるものです。

組入上位5銘柄

	銘柄	比率	サブテーマ	投資の視点（含む気候変動関連事業の取り組み）
1	シーメンス・エナジー	3.7%	緩和	ドイツを拠点に再生可能エネルギー分野における製品の設計、開発、サービスを手がける。水を電気分解して高純度の水素ガスを生成する水電解装置の分野など、同社事業に関連する市場拡大の恩恵を受け、利益率の成長が期待できる。
2	リパブリック・サービスズ	3.2%	緩和	米国の一般廃棄物処理会社。廃棄物の収集や処理、リサイクルなど、循環型経済をめざすサービスを提供。安定した需要と同社の持つ価格決定力により、利益拡大が期待できる。
3	マーシュ・アンド・マクレナン・カンパニーズ	3.2%	適応	米国の大手保険グループ。事業者向けの損害保険を提供しており、近年、増加傾向にある自然災害による事業者の損害リスクの軽減を支援する。よりニーズが増しているこれら損害保険分野の成長性などから、同社の収益拡大が見込まれる。
4	マイクロソフト	3.1%	緩和	同社が提供するクラウドコンピューティングの活用により、従来のデータセンターに比べてCO ₂ 排出量や電力消費量の90%超の削減につながる。クラウド事業は、業務効率化のニーズの高まりの恩恵を受け、利益拡大につながると考えられる。
5	比亞迪〔B Y D〕	3.0%	緩和	中国の大手電気自動車（E V）メーカー。E V用の電池からE V本体まで自社で一貫して開発・製造を行っている。世界的なE V需要の拡大と同社の技術的優位性により、利益拡大が期待できる。

（注）比率は対純資産総額比です。

ESGを主要な要素として投資する銘柄の投資額の比率（2024年12月末時点）

当ファンドでは、P3の表く当ファンドの主要投資対象ファンドの運用に関するDWSのESG関連評価における「除外」の条件に一つでも抵触する銘柄を組入不可としています。

一方、同表の「除外」の条件に抵触しない銘柄は組入可としていますが、一部の「分析対象」（③を除く①②④⑤）についてはデータ不足による未評価の銘柄が含まれることがあります。

当ファンドでは、「ESGを主要な要素として投資する銘柄」をすべての「分析対象」（①②③④⑤）において未評価項目がなく記載条件を満たす銘柄と定義しています。

2024年12月末時点における株式全体の組入比率98.5%に対して、その投資額の比率は97.3%となります。

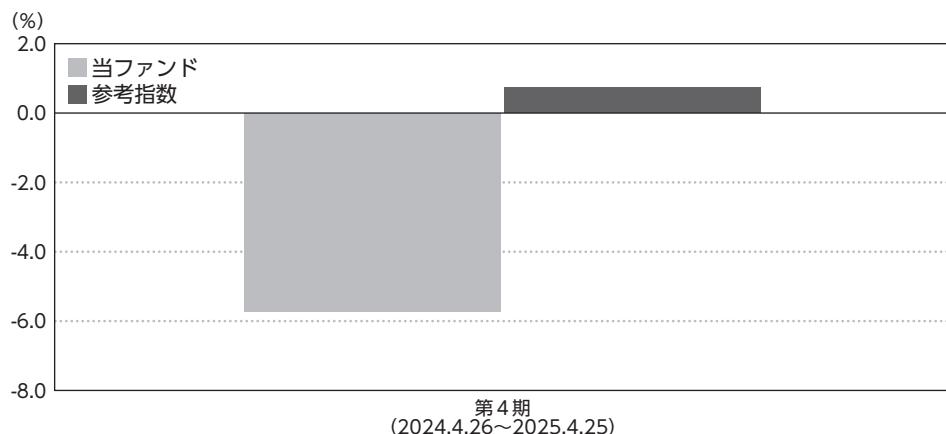
（注1）比率は純資産総額に対する株式保有比率（現金等除く）です。

（注2）投資対象銘柄の基準は当期末におけるものであり、今後変更となる可能性があります。

ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

参考指標との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指標はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円ベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-5.7%となり、参考指標騰落率（+0.7%）を下回りました。

これは「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」の個別銘柄選択において、情報技術や資本財・サービスなどの業種がマイナスに寄与したことなどによるものです。

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）参考指標の詳細につきましては、後掲の「指標について」をご参照ください。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送させていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年4月26日～2025年4月25日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,709円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、気候変動に関連する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス

トランプ米政権による関税政策の着地点は見出しづらい情勢であり、ウクライナ情勢と併せて当面の先行き不透明感が高まっています。混乱と不確実性という組み合わせは消費者信頼感や企業景況感の悪化につながり、最終的に企業の投資や消費行動にも影響を与え、経済活動の減速に結びつくリスクがあると考えます。現状ではトランプ米政権の政策における不透明要素が大きいことから、多くの変化を想定し、長期的な目線で冷静に立ち回る必要があると考えています。金融市場のボラティリティ（価格変動性）が当面高止まることが想定されるため、株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）に留意しつつ、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色を冷静に行う局面であると想定しています。

このような環境の中、地球環境問題の解決策となるようなクリーン・テクノロジーの分野は単なる流行の投資ではなく、今後数十年にわたって魅力的な投資機会を提供すると考えています。引き続き、当ファンドでは気候変動に関連する事業を展開する企業のなかでも特に、優れた技術・ビジネスモデルを有し、持続的な成長が期待される企業を選別し、投資を行う方針です。

■ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第4期末 2025年4月25日
DWS・インベスト・ESG・クライメート・ テックFC（円建て）クラス	98.6%
ニッセイマネーストックマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

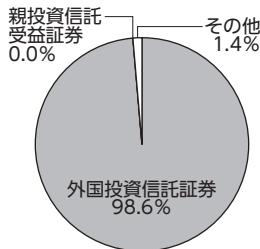
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

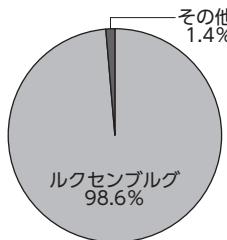
項目	第4期末 2025年4月25日
純資産総額	5,890,357,626円
受益権総口数	5,177,676,973口
1万口当たり基準価額	11,376円

(注) 当期間中における追加設定元本額は78,717,754円、同解約元本額は2,015,393,377円です。

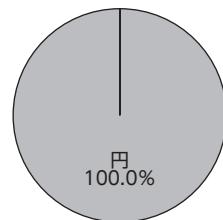
■資産別配分



■国別配分



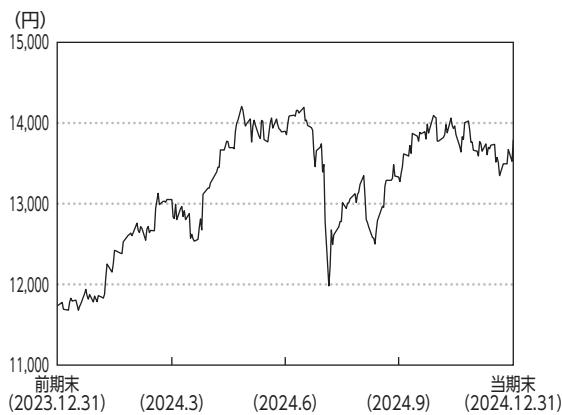
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年4月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラスの概要

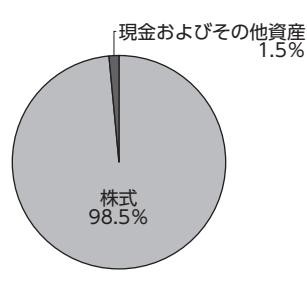
■税引前分配金再投資基準価額の推移



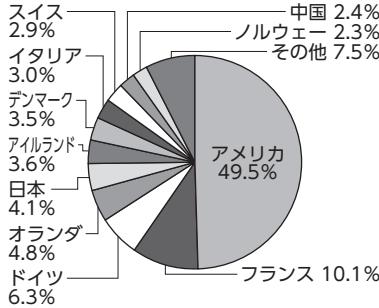
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Republic Services Inc	米ドル	3.5%
Siemens Energy AG	ユーロ	3.1
Microsoft Corp	米ドル	3.1
Marsh & McLennan Cos Inc	米ドル	2.9
Itron Inc	米ドル	2.8
Air Liquide SA	ユーロ	2.5
Schneider Electric SE	ユーロ	2.5
Graphic Packaging Holding Co	米ドル	2.4
East Japan Railway Co	円	2.4
First Solar Inc	米ドル	2.3
組入銘柄数		58

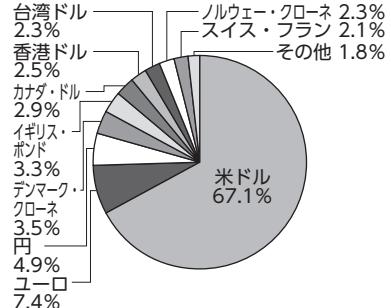
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

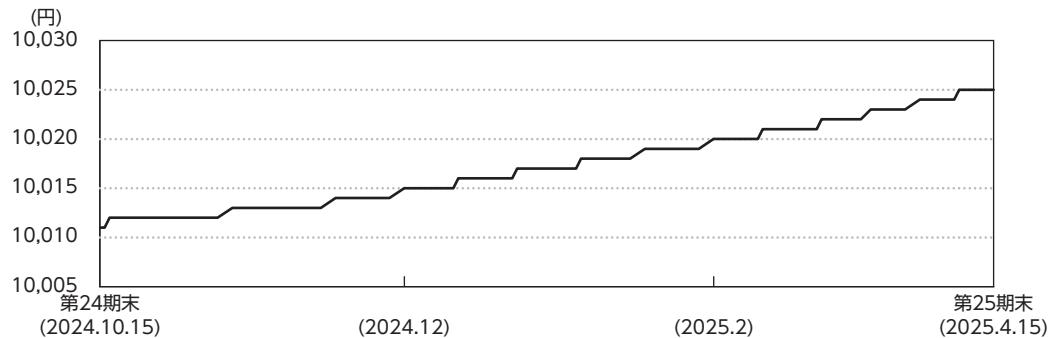
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2024年12月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はDWSインベストメントGmbHの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細につきましては、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーストックマザーファンドの概要

■基準価額の推移



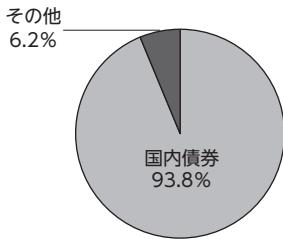
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
平成27年度第2回 兵庫県公募公債	円	20.0%
第146回 共同発行市場公募地方債	円	12.0
令和2年度第10回 北海道公募公債（5年）	円	12.0
第74回 政保地方公共団体金融機関債券	円	10.0
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	9.9
第748回 東京都公募公債	円	6.0
第147回 共同発行市場公募地方債	円	6.0
平成27年度第3回 千葉県公募公債	円	6.0
平成27年度第1回 静岡市公募公債	円	6.0
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	円	6.0
組入銘柄数		10

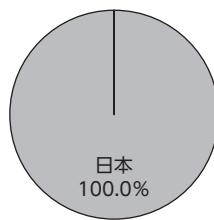
■1万口当たりの費用明細

当期（2024年10月16日～2025年4月15日）における費用はありません。

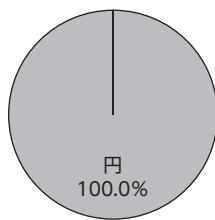
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1） 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注2） 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年4月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注3） 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	参考指数	期中 騰落率	DWS・インベスト・ ESG・グライメート・ テックFC (円建て) クラス	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2021年4月26日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	10,000	% -	% -	% -	百万円 1,345
1期 (2022年4月25日)	10,387	0	3.9	10,387	11,515	15.2	98.7	0.0	16,319
2期 (2023年4月25日)	10,715	0	3.2	10,715	11,935	3.6	99.2	0.0	13,527
3期 (2024年4月25日)	12,065	0	12.6	12,065	16,273	36.4	98.8	0.0	8,583
4期 (2025年4月25日)	11,376	0	△5.7	11,376	16,395	0.7	98.6	0.0	5,890

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	DWS・インベスト・ ESG・グライメート・ テックFC (円建て) クラス	債券 組入比率
(期首) 2024年4月25日	円 12,065	% -	16,273	% -	% 98.8	% 0.0
4月末	12,347	2.3	16,587	1.9	98.4	0.0
5月末	13,123	8.8	16,953	4.2	99.0	0.0
6月末	13,068	8.3	17,912	10.1	99.0	0.0
7月末	12,894	6.9	17,213	5.8	99.4	0.0
8月末	12,329	2.2	16,732	2.8	98.9	0.0
9月末	12,501	3.6	16,974	4.3	99.3	0.0
10月末	13,161	9.1	18,037	10.8	99.0	0.0
11月末	12,870	6.7	18,146	11.5	99.1	0.0
12月末	12,771	5.9	18,737	15.1	99.0	0.0
2025年1月末	12,709	5.3	18,796	15.5	99.1	0.0
2月末	12,225	1.3	17,981	10.5	99.5	0.0
3月末	11,947	△1.0	17,479	7.4	99.2	0.0
(期末) 2025年4月25日	11,376	△5.7	16,395	0.7	98.6	0.0

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年4月26日～2025年4月25日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス	千口 —	千円 —	千口 186	千円 2,529,500

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーストックマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 —	千円 —

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年4月26日～2025年4月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2025年4月25日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額	比率	
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス	千口 661	千口 475	千円 5,810,073	98.6	%
合計	661	475	5,810,073	98.6	

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首（前期末）		当期末	
	口数	千円 9	口数	千円 9
ニッセイマネーストックマザーファンド				千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーストックマザーファンド全体の口数は49,953千口です。

投資信託財産の構成

2025年4月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス	千円 5,810,073	% 97.9
ニッセイマネーストックマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	127,217	2.1
投資信託財産総額	5,937,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月25日現在)

項目	当期末
(A) 資 産	5,937,301,151円
コール・ローン等	127,217,684
DWS・インベスト・ESG・ クライメート・テックFC (円建て) クラス(評価額)	5,810,073,455
ニッセイマネーストック マザーファンド(評価額)	10,012
(B) 負 債	46,943,525
未 払 解 約 金	6,150,549
未 払 信 記 報 酬	40,629,710
そ の 他 未 払 費 用	163,266
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,890,357,626
元 本	5,177,676,973
次 期 繰 越 損 益 金	712,680,653
(D) 受 益 権 総 口 数	5,177,676,973口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,376円
(注) 期首元本額	7,114,352,596円
期中追加設定元本額	78,717,754円
期中一部解約元本額	2,015,393,377円

損益の状況

当期 (2024年4月26日～2025年4月25日)

項目	当期
(A) 配 当 等 収 益 受 取 利 息	238,259円 238,259
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益 売 売 買 買 益 損	△269,577,924 149,246,125 △418,824,049
(C) 信 託 報 酉 等	△ 89,700,319
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△359,039,984
(E) 前 期 繰 越 損 益 金 (分 配 準 備 積 立 金) (繰 越 欠 損 金)	866,633,817 (866,675,028) (△ 41,211)
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 * (配 当 等 相 当 額) (売 買 損 益 相 当 額)	205,086,820 (18,587,460) (186,499,360)
(G) 合 計(D+E+F)	712,680,653
次 期 繰 越 損 益 金(G)	712,680,653
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	205,086,820 (18,587,460)
(売 買 損 益 相 当 額)	(186,499,360)
分 配 準 備 積 立 金	866,675,028
繰 越 欠 損 金	△359,081,195

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	18,587,460円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	866,675,028円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	885,262,488円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,709.77円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものととらえています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

■自社の実質保有比率

2025年3月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーストックマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.9%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式						
信 託 期 間	2021年4月26日～2044年4月25日						
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のながら、気候変動に関する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。						
主 要 運用対象	<table border="1"> <tr> <td>ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型)</td><td>「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」および「ニッセイマネーストックマザーファンド」</td></tr> <tr> <td>DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC (円建て) クラス</td><td>日本を含む世界の株式</td></tr> <tr> <td>ニッセイマネーストックマザーファンド</td><td>円建ての短期公社債および短期金融商品</td></tr> </table>	ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型)	「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」および「ニッセイマネーストックマザーファンド」	DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC (円建て) クラス	日本を含む世界の株式	ニッセイマネーストックマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型)	「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」および「ニッセイマネーストックマザーファンド」						
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC (円建て) クラス	日本を含む世界の株式						
ニッセイマネーストックマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品						
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 						
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。						

DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C (円建て) クラス

以下は、「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テック」(ルクセンブルグ籍外国投資信託証券)の2024年12月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(ユーロ)

収益

配当収入 (源泉徴収前)	8,720,445.38
流動資産運用益 (源泉徴収前)	513,215.46
外国源泉税控除	(849,704.08)
その他収益	1,842.00
収益 (損失) 合計	8,385,798.76

費用

借入金利息とマイナス預金利息	(83.42)
管理報酬	(8,657,820.48)
基本管理費	(8,615,516.40)
管理事務代行報酬	(42,304.08)
預託手数料	(33,140.69)
監査、法務、発行費用	(60,820.90)
加入税	(310,268.98)
その他費用	(178,758.19)
前払手数料	(55,863.39)
その他	(122,894.80)
費用合計	(9,240,892.66)

投資純利益 (損失)	(855,093.90)
-------------------	---------------------

売却取引

実現利益 (損失)	1,117,824.56
資産売却差益 (損失)	1,117,824.56

純利益 (損失)	262,730.66
-----------------	-------------------

(2) 投資有価証券明細表 (2024年12月31日)

DWS Invest ESG Climate Tech

Security name	Count/ units/ currency	Quantity/ principal amount	Purchases/ additions in the reporting period	Sales/ disposals	Currency	Market price	Total market value in EUR	% of net assets
Securities traded on an exchange								
Equities								
Stantec, Inc.	Count 94 190	127 830	CAD 111.88	7 026 268.59	1.09			
ALK-Abello A/S	Count 608 210	123 250	DKK 158.4	12 916 494.18	2.00			
NKT A/S	Count 139 812	4 460	DKK 27 430	512.5	9 606 700.18	1.48		
Air Liquide SA	Count 106 387	9 672	EUR 69 311	154.46	16 432 536.02	2.54		
Arcadis NV	Count 253 221	74 891	EUR 27 350	58	14 686 818.00	2.27		
AXA SA	Count 409 000	409 000	EUR	34.09	13 942 810.00	2.15		
Cie de Saint-Gobain SA	Count 105 200	20 640	EUR 115 430	85.56	9 000 912.00	1.39		
DSM-Firmenich AG	Count 132 762	11 430	EUR 51 740	96.62	12 827 464.44	1.98		
E.ON SE	Count 900 750	180 340	EUR	11.245	10 128 933.75	1.56		
ENEL SPA	Count 1 045 390	843 150	EUR 6 875	7 187 056.25	1.11			
Fugro NV	Count 747 584	200 230	EUR	16.39	12 252 901.76	1.89		
Knorr-Bremse AG	Count 111 70	46 470	EUR 64 970	70.35	7 820 809.50	1.21		
Nordex SE	Count 214 400	214 400	EUR	11.27	2 416 288.00	0.37		
Prismaan SpA	Count 203 020	22 780	EUR 102 290	61.52	12 489 790.40	1.93		
Schneider Electric SE	Count 67 099	21 790	EUR 238.45	15 999 756.55	2.47			
Siemens Energy AG	Count 402 372	446 782	EUR 44 410	50.38	20 271 501.36	3.13		
STMicroelectronics NV	Count 249 389	97 236	EUR 23 965	5 976 607.39	0.92			
Veolia Environnement SA	Count 367 773	346 150	EUR 26.85	9 874 705.05	1.53			
Severn Trent PLC	Count 211 420	211 420	GBP 24.95	6 364 335.45	0.98			
SSE PLC	Count 174 274	356 090	GBP 16.035	3 371 615.23	0.52			
BYD Co., Ltd H+	Count 392 000	60 500	HKD 235 000	268.2	13 014 737.60	2.01		
Flat Glass Group Co., Ltd	Count 2 033 000	961 000	HKD 11.08	2 788 481.16	0.43			
East Japan Railway Co.	Count 909 600	606 400	JPY 32 400	2 795	15 552 737.66	2.40		
Kurita Water Industries Ltd	Count 197 600	197 600	JPY 5 544	6 701 696.32	1.04			
Shimano, Inc.	Count 32 000	32 000	JPY 21 390	4 187 312.23	0.65			
Mowi ASA	Count 893 872	61 549	NOK 195.5	14 776 918.17	2.28			
Delta Electronics, Inc.	Count 829 000	829 000	TWD 434.5	10 571 330.00	1.63			
Voltronic Power Technology Corp.	Count 69 000	25 000	TWD 187.5	3 796 957.02	0.59			
AECOM	Count 134 830	134 830	USD 106.13	13 751 866.38	2.12			
Agilent Technologies, Inc.	Count 60 340	60 340	USD 133.57	7 745 530.65	1.20			
Cadence Design Systems, Inc.	Count 38 710	53 420	USD 14 710	298.53	11 105 755.23	1.72		
Chart Industries, Inc.	Count 23 220	23 220	USD 188.24	2 200 597.55	0.65			
Darling Ingredients, Inc.	Count 469 325	240 775	USD 32.72	14 757 878.44	2.28			
First Solar, Inc.	Count 87 292	38 020	USD 49 370	178.3	14 957 628.14	2.31		
Graphic Packaging Holding Co.	Count 603 300	74 580	USD 27.07	15 694 899.03	2.42			
Itron, Inc.	Count 177 058	45 910	USD 32 820	107.7	18 326 021.96	2.83		
Marsh & McLennan Cos, Inc.	Count 94 150	13 550	USD 42 540	210.8	19 073 389.42	2.95		
Microsoft Corp.	Count 49 215	7 190	USD 422.67	19 991 061.64	3.09			
Monolithic Power Systems, Inc.	Count 10 170	10 170	USD 595.82	5 823 351.10	0.90			
NEXTracker, Inc. -A-	Count 268 023	221 280	USD 36.58	9 422 208.50	1.46			
Nomad Foods Ltd	Count 478 614	737 703	USD 16.46	7 570 981.31	1.17			
nVent Electric PLC	Count 170 610	170 610	USD 67.67	11 095 263.09	1.71			
NVIDIA Corp.	Count 85 640	211 060	USD 137.07	11 281 218.64	1.74			
NXP Semiconductors NV	Count 21 806	35 366	USD 207.81	4 354 912.12	0.67			
Quantum Services, Inc.	Count 48 290	23 110	USD 19 290	316.74	14 699 313.85	2.27		
Republic Services, Inc.	Count 116 580	92 910	USD 200.98	22 517 717.62	3.48			
Smurfit WestRock PLC	Count 230 956	342 216	USD 53.705	11 920 127.90	1.84			
Sprouts Farmers Market, Inc.	Count 75 737	100 173	USD 126	9 170 976.67	1.42			
Tetra Tech, Inc.	Count 80 610	80 610	USD 39.68	3 073 955.17	0.48			
TopBuild Corp.	Count 22 406	2 080	USD 304.76	6 562 347.76	1.01			
Trimble, Inc.	Count 200 500	52 358	USD 70.01	13 489 982.91	2.08			
Universal Display Corp.	Count 83 320	27 990	USD 146.44	11 725 892.99	1.81			
Verlato Corp.	Count 146 933	48 750	USD 101.51	14 333 924.70	2.21			
Verisk Analytics, Inc.	Count 41 321	5 400	USD 27 970	274.03	10 881 928.77	1.68		
Vertiv Holdings Co. -A-	Count 124 350	124 350	USD 113.64	13 580 443.71	2.10			
Weyerhaeuser Co. REIT	Count 230 325	53 860	USD 25 160	27.61	6 111 452.37	0.94		
Xylem, Inc.	Count 122 365	61 200	USD 26 200	115.6	13 594 148.00	2.10		
Zoetis, Inc.	Count 95 648	32 720	USD 7 210	161.63	14 857 126.16	2.30		
Total securities portfolio				637 655 830.04	98.49			

【受益者の皆様へ】 法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイマネーストック マザーファンド

運用報告書

第 25 期

(計算期間：2024年10月16日～2025年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



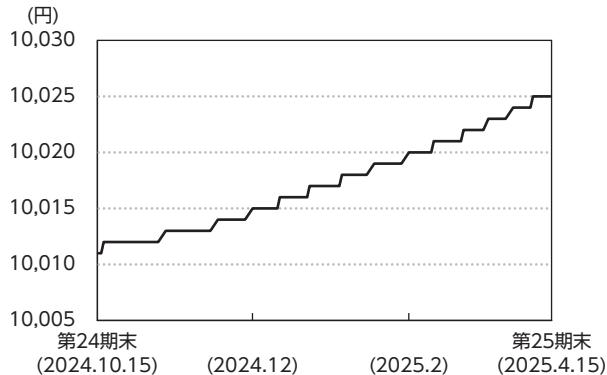
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年10月16日～2025年4月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額			
				円	%	%	百万円
21期 (2023年 4月17日)	10,010	△0.0	92.1				50
22期 (2023年10月16日)	10,008	△0.0	94.1				50
23期 (2024年 4月15日)	10,008	0.0	74.1				50
24期 (2024年10月15日)	10,011	0.0	64.0				50
25期 (2025年 4月15日)	10,025	0.1	93.8				50

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率		
			円	%	%
(期首)2024年10月15日	10,011	—			64.0
10月末	10,012	0.0			52.0
11月末	10,013	0.0			84.0
12月末	10,016	0.0			95.9
2025年 1月末	10,018	0.1			95.9
2月末	10,021	0.1			89.9
3月末	10,024	0.1			93.8
(期末)2025年 4月15日	10,025	0.1			93.8

(注) 謄落率は期首比です。

ニッセイマネーストックマザーファンド

1万口当たりの費用明細

2024年10月16日～2025年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,017円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

国 内	地方債証券	買付額	売付額
		千円	千円
	地方債証券	29,942	(12,000)
	特殊債券	5,006	(8,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

銘柄	買付	金額	売付	金額
	銘柄		金額	
平成27年度第2回兵庫県公募公債	10,012	千円	－	千円
令和2年度第10回北海道公募公債(5年)	5,977		－	
第74回政保地方公共団体金融機関債券	5,006		－	
平成27年度第13回京都府公募公債	4,971		－	
平成27年度第3回千葉県公募公債	3,002		－	
平成27年度第1回静岡市公募公債	2,998		－	
令和2年度第3回仙台市公募公債(5年)	2,981		－	

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	千円 42,000 (42,000)	千円 41,952 (41,952)	% 83.8 (83.8)	% —	% —	% —	% 83.8 (83.8)
特殊債券 (除く金融債券)	5,000 (5,000)	5,002 (5,002)	10.0 (10.0)	—	—	—	10.0 (10.0)
合計	47,000 (47,000)	46,955 (46,955)	93.8 (93.8)	—	—	—	93.8 (93.8)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第748回東京都公募公債	0.4560	2025/9/19	3,000	3,001
	令和2年度第10回北海道公募公債(5年)	0.0200	2025/9/25	6,000	5,987
	平成27年度第13回京都府公募公債	0.1100	2026/3/17	5,000	4,972
	平成27年度第2回兵庫県公募公債	0.5010	2025/5/28	10,000	10,002
	平成27年度第3回千葉県公募公債	0.5240	2025/6/25	3,000	3,000
	第146回共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/5/23	6,000	6,002
	第147回共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/6/25	3,000	3,001
	平成27年度第1回静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	3,000	2,998
	令和2年度第3回仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/1/28	3,000	2,983
	小計	—	—	—	41,952
特殊債券 (除く金融債券)	第74回政保地方公共団体金融機関債券	0.5570	2025/7/15	5,000	5,002
	小計	—	—	—	5,002
	合計	—	—	—	46,955

投資信託財産の構成

2025年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	46,955	93.8
コール・ローン等、その他	3,129	6.2
投資信託財産総額	50,084	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーストックマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

		(2025年4月15日現在)
項目		当期末
(A)資	産	50,084,224円
コール・ローン等		3,089,776
公社債(評価額)		46,955,092
未収利息		38,912
前払費用		444
(B)負	債	1,505
未払解約金		1,505
(C)純資産総額(A-B)		50,082,719
元本		49,956,106
次期繰越損益金		126,613
(D)受益権総口数		49,956,106口
1万口当たり基準価額(C/D)		10,025円

(注1) 期首元本額	49,987,080円
期中追加設定元本額	9,979円
期中一部解約元本額	40,953円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイマネーストックファンド (適格機関投資家限定)	49,886,180円
ニッセイ世界リートオープン (毎月決算型)	9,995円
ニッセイ世界リートオープン (年2回決算型)	9,995円
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド	
(予想分配金提示型)	9,987円
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド	
(資産成長型)	9,987円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2022-12	
(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,989円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2024-03	
(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,994円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2025-03	
(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,979円

損益の状況

		当期 (2024年10月16日～2025年4月15日)
項目		当期
(A)配当等収益		105,517円
受取利息		105,517
(B)有価証券売買損益		△ 36,148
売買益		14,491
売買損		△ 50,639
(C)当期損益金(A+B)		69,369
(D)前期繰越損益金		57,243
(E)追加信託差損益金		21
(F)解約差損益金		△ 20
(G)合計(C+D+E+F)		126,613
次期繰越損益金(G)		126,613

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数について

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円ベース）

M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックスは、 M S C I Inc. が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は M S C I Inc. に帰属します。また、 M S C I Inc. は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。